

平成30年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局、帯広防衛支局

北海道防衛局4F第1・2会議室

開催日及び場所	平成30年12月3日(月)	北海道防衛局4F第1・2会議室
委員	阿座上洋吉(経営学者) 大浦 崇志(公認会計士) 神谷奈保子(大学客員教授) 菊地 均(大学名誉教授) 津田秀太郎(弁護士)	(50音順)

防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成30年7月1日 ~ 平成30年9月30日
審議対象件数	31件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数		6件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	5件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	26件		

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p><b>【指名停止状況説明】</b> (特になし)</p> <p><b>【低入札状況説明】</b> (特になし)</p> <p><b>【抽出案件】</b> ○建設工事 (一般競争(政府調達協定対象外)) <b>①千歳(30)局舎(906)改修等機械その他工事</b> ・高落札率となった理由及び過去の同種工事においても本件の落札業者が高率で落札している理由について説明されたい。</p> <p>・本件の落札業者からも見積を徴取したのか。</p> <p><b>② 滝川(30)仮設建物設置工事</b> ・1者応札となった理由を説明されたい。</p>	<p>・本件及び過去の同種工事は、いずれも千歳基地内における老朽化した機器の更新工事であり、機器メーカーから徴取した機器本体の見積りと、防衛省や国交省で公表されている経費率及び労務単価を用いて積算を行っているため、精度の高い積算を業者が行った結果と考えるが、本件と28年度の工事については、1回目の入札が予定価格を超過しており、2回目及び3回目で落札したという経緯から落札率が高くなったものと推察する。</p> <p>・落札業者からは徴取していない。</p> <p>・滝川市内における建築一式工事Aランク及びBランクの登録業者が1者しかいなかったため、空知管内</p>

意見・質問	回答
<p>・高落札率になった理由について説明されたい。</p> <p>・見積りは落札業者から徴取したのか。</p> <p>○建設コンサルタント業務 (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>③ 千歳外(30)隊舎耐震改修等建築設計</p> <p>・本件は、落札率が約36%と非常に低いが、低入札価格調査の概要について説明されたい。</p> <p>・過去に受注した業務も低入札価格だったのか。</p> <p>・品質は確保されているのか。</p> <p>・実績があり経験豊富ということだが、他者に比べ技術評価点が低いのは何故か。</p>	<p>に範囲を広げ募集したが、結果として1者しか応札がなかった。その要因について、入札参加実績のある業者に聞き取りしたところ、手持ち工事が重複しており技術者の配置が困難であったこと、また、本工事は一般的な既製品のプレハブを使用し、規模的にも大きくなく、企業努力で利益を見込める余地が少ないということから敬遠されたようである。</p> <p>・本工事は、プレハブの設置、撤去及びリース費用が主となる工事のため、内訳の大部分が見積りによることであり、労務単価及び経費率は公表されていることから、精度の高い積算を業者が行った結果と考える。</p> <p>・見積りは、建築一式工事で当局の入札参加経験のある業者から徴取した。落札業者からは協力が得られなかったので徴取していない。</p> <p>・当該落札業者は、平成27年度及び28年度に同種の耐震設計を多数受注した実績があり、経験豊富な技術者を効率的に配置できるため、人件費及び技術経費を低減し、諸経費についても過去の実績から自社の利益を確保できる範囲で抑え、強い受注意欲を持って入札に臨んだ結果、低入札価格となったものであり、契約に適合した履行がされると判断した。</p> <p>・平成27年度は90%弱、28年度は85%程度の落札率であった。</p> <p>・本業務は、現在履行中であるため最終的な成果品は確認できていないが、これまでのところ問題なく履行されている。また、過去の業務成果についても全く問題はなく、品質は確保されているものと考えている。</p> <p>・応札した他者の点数が高いため、比較するとそのように見えてしまうが、履行困難と判断するまでの低い</p>

	意見・質問	回答
	<p>・ 相対評価としては低い、絶対評価としては最低ラインをクリアしているということか。</p> <p>・ しかし、技術評価点が低くても本件のように入札価格が極端に低ければ価格評価点が高くなり、最終的に評価値が上がってしまうのであれば、極論として、技術力がなくても落札できる結果にならないか。</p> <p>(随意契約(政府調達協定対象外))</p> <p><b>④ 奥尻(30)通信施設新設等建築設計</b></p> <p>・ 6者中1者を特定した経緯と根拠を説明されたい。</p> <p>・ 特定テーマに対する技術提案書の評価はどのように行うのか。マニュアルがあるのか。</p> <p>・ 評価点はどのように採点するのか。</p>	<p>点数ではない。</p> <p>・ そのとおりである。</p> <p>・ そのような結果にならないよう、低入札価格調査を行い、契約に適合した履行がされるかを確認している。</p> <p>・ 本件は、業務内容が通信局舎の実施設計であり、予定価格が6,800万円以下であることから、当省所管の「建設工事に係る技術業務委託の契約等の事務処理要領」に基づき、入札方式を簡易公募型プロポーザル方式とした。特定した経緯は、まず参加希望者の公募を行い、参加表明書が提出された6者の中から、過去の同種業務実績及び技術者の資格や経験等について審査及び評価を行い、技術提案書の提出者を5者選定したところ、1者辞退となったため、4者から提出された技術提案書の内容を審査し、配置予定技術者のヒアリングを行った上、最も評価点の高い技術提案書提出者1者を特定し、その1者と見積合わせを行い随意契約したものである。</p> <p>・ 特定テーマは大きく分けて2つあり、1つ目の「実施方針・実施フロー・工程計画等」については、本件の現場が離島であることを考慮して、どのような内容で設計するのか、2つ目の「特定テーマに関すること」は、離島における強風対策、塩害対策及び精密機材の取り扱いについて、どのように設計に反映させるのかヒアリングを交え評価した。マニュアルは特に設けていない。</p> <p>・ 今回の評価は5名で実施し、実施方針等は5項目で各10点の50点満点、特定テーマは10項目で各10点の100点満点とし、5名の平</p>

		意見・質問	回答
		(一般競争(政府調達協定対象外)) <b>⑤ 網走(30)局舎改修等測量等調査</b> (特になし)  <b>⑥ 鹿追(30)宿舎新設建築設計</b> ・本件は、落札率が約42%と低く、契約額と予定価格の直接人件費が同額に近い金額となっているが、履行可能な適正価格だという理由について、低入札価格調査の概要を踏まえ説明されたい。  ・履行上の問題は生じていないか。	均点が評価点となる。  ・本件の落札業者は、過去に市町村及び民間の共同住宅の設計を多数受注した実績があり、住居施設に精通した技術者を効率的に配置できるため、人件費及び技術経費の低減が可能となった。また、予定価格の算定は、公表されている労務単価等を採用しているが、落札業者においては、会社の賃金形態に基づいて、実働に即した適正な単価を算出しており、契約に適合した履行がされると判断した。  ・現在履行中であるが、これまでのところ問題なく履行されている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし	
2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要)
工	談合情報	0件	・なし
	点検結果疑義	0件	
業	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問		意見・質問	回答
○それに対する回答等		・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし	
3. 再苦情処理(再説明請求回答)			
再苦情申立件数(再説明請求件数)		0件	(審議概要)
建	一般競争(政府調達協定対象)	0件	・なし
	一般競争(政府調達協定対象外)	0件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		0件	
○委員からの意見・質問		意見・質問	回答
○それに対する回答等		・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし	